



議会だより

わーす

第161号



CONTENTS

こんなことが決まりました・人事故件… 2P

7名の議員が町政を問う…………… 3P

決算認定・監査委員より…………… 10P

現地調査・活動報告…………… 11P

子ども議会…………… 12P

絆のバトン・編集後記…………… 14P



左の三次元コードをスマートフォン
などで読み取ると、町議会のホームページ
ページにリンクします。

■令和5年 第3回 定例会（9月12日～19日）

議案等番号	件名	議員名（議席番号順）												議事結果
		山口 明香	島田 造樹	森 富隆	川畠 宏一	池田 正一	喜井 和夫	児玉 寧隆	東 弘明	中田 隆洋	山下 幸秀	桂 弘一	永野 利則	
	【表の見方】 報：報告 承：承認 質：質問 議：議案 陳：陳情 発：発議 ○：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 一：表決権なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
報8	財政健全化判断比率について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報9	資金不足比率について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
承16	専決処分の承認を求めることについて (令和5年度和泊町一般会計補正予算第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議52	和泊町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議53	和泊町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
発5	和泊町議会議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議54	和泊町港湾管理条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議55	和泊町空き家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議56	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の変更及び同組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議57	和泊町教育委員会委員の任命について	無記名投票 賛成11 反対0												—
議58	物品購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議59	債権の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議60	令和5年度和泊町一般会計補正予算（第6号）の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議61	令和5年度和泊町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議62	令和5年度和泊町介護保険特別会計補正予算（第1号）の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議63	令和5年度和泊町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議64	令和5年度和泊町下水道事業会計補正予算（第2号）の議決について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議65	令和4年度和泊町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議66	令和4年度和泊町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議67	令和4年度和泊町奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議68	令和4年度和泊町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議69	令和4年度和泊町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議70	令和4年度和泊町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議71	令和4年度和泊町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議72	令和4年度和泊町水道事業会計剰余金の処分の議決及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議員派遣について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	議会運営委員会の閉会中の継続調査申出書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	各常任委員会の閉会中の継続調査申出書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	脱炭素先行地域事業調査特別委員会の閉会中の継続調査申出書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※永野利則議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

pickup 人事案件

無記名投票による採決

投票総数 11 票

賛成 11 票
反対 0 票

● 和泊町教育委員会委員の任命 ●

任期満了に伴う同意
徳田 英輔 氏（53歳・和泊）

答 児童福祉施設の統廃合及び建設計画については、児童の安全面を最優先に考慮し、総合交流施設より優

計画及び進捗状況は。

問 児童福祉施設の統廃合に向けて協議・検討が進められているが、その後の建設

建設予定の施設



いけだ しょういち
池田 正一 議員

未来のために、しっかりした施設を!!

先した建設が検討されたが、令和5年7月に開催された第2回児童福祉施設建設推進協議会では、児童福祉施設の統廃合や新たな施設の建設を進めるにあたっては、課題となつてている施設の危険度や、将来の児童数の推移について今一度、詳細な調査が必要との意見がまとめられた。

現在、児童福祉施設建設事業推進協議会では、各施設の危険度や今後の児童の推移など、児童福祉施設の統廃合や、新たな施設の建設時期を

現状、児童福祉施設建設事業について検証した。その結果、両会議において改めて検証した。

合的に決定していきたい。

答 総合交流施設のイメージ図は、鳥瞰図と配置平面計画検証図の作成が終わり、その図面を基に、「総合交流施設建設プロジェクトチーム会議」及び「総合交流施設建設プロジエクトチーム会議」を更に推進する会において、場所について改め

次回の会議では、今後の施設建設計画や修繕計画等について、財政係から説明をいただき、本町の財政状況・人口推移を考慮して、規模を総

具体化するための調査を行っている。

規模は、バレーボールコートを基準として、メインフロアを3面にするか、2面にするか、意見は分かれている。サブアリーナは、球技以外の利活用も考慮すると、1面は必要とのことになつた。

ココが聞きたい 一般質問 町政を問う!!

令和5年第3回 議会定例会

いけだ しょういち
・池田 正一 議員

未来のために、
しっかりした施設を!!
P3

やまぐち あすか
・山口 明日香 議員

こどもまんなか
社会へ向けて
P4

なかだ たかひろ
・中田 隆洋 議員

未来に挑戦、豊かな明日へ
P5

かわばた こういち
・川畑 宏一 議員

沖永良部台風の
教訓を忘れずに
P6

こだま さねたか
・児玉 実隆 議員

花き生産増量と輸送対策は?
P7

きいかずお
・喜井 和夫 議員

スマート農業の推進
P8

ひがしひろあき
・東 弘明 議員

高齢者にやさしいまちづくり
P9

一般質問とは??

議員が町の行財政全般について、事務・予算等の執行状況や、今後の考え方・方針を聞き、疑問点を質すこと。



こどもまんなか社会へ向けて

子育て支援

ある子育てができるまちづくりに今後も取組んでいく。



やまぐちあすか
山口明日香議員

書の様式等を改めた。購入に町内で調達可能な品物は町内事業者からの購入をお願いしたいと考えている。

答

本町においても、こどもの視点に立って、こどもやその世帯を巡るさまざまな課題に対応するため、こどもに特化した、新たな課題の設置を考えている。本町には、妊産婦や乳幼児の保護者の相談を受ける「子育て包括支援センター」と虐待や貧困などの問題を抱えた家庭に対応する「地域子育て支援拠点」がそれぞれ設置されているが、この2つの機関を一元化し、全ての妊産婦・子育て世帯を包括的に支援する「こども家庭センター」の設置へ向け準備を進めている。これらの体制を整えるとともに、子どもに関わる様々な関係団体とのネットワークの強化連携を更に推進し、安心・夢・ゆとり

問

こども家庭厅の設置に伴い、今後の子育て支援に関する施策の方針は。

令和3年第4回定例会で質問を行ったが、その後どのように検討がなされたか。

答

令和3年12月、介護支援専門員を対象に介護用品の種目追加及び購入方法についてアンケートを実施した。アンケート結果について協議し、排泄ケアが必要な要介護者の支援拡充のため、令和4年6月に一部要綱改正を行い、介護用品の種目に防水シーツを追加した。その後、登録店舗や購入者の手続き負担軽減のため、令和5年2月に要綱改正を行い、受領証明



介護用品支給サービス事業

対象用品

紙オムツ・
尿取りパット・
防水シーツ
(令和4年6月
から対象)



ある子育てができるまちづくりに今後も取組んでいく。

こどもまんなか社会とは？

こどもや子育て中の方々が気兼ねなく様々な制度やサービスを利用できるよう、地域社会・企業など様々な場で、年齢・性別を問わず、全ての人がこどもや子育て中の方々を応援するといった社会全体の意識改革を進めるための取組です。



未 来 に 挑 戦、豊 か な 明 日 へ



なかだ たかひろ
中田 隆洋 議員

下水道事業

問 処理人口の少ない区域では、老朽化した中継ポンプなどの設備を更新し供用を継続するよりも、合併浄化槽に変更した方が効率的だと考えるが、今後の計画は。

答 現在、東部・北部地区の統合についても検討を開始している。合併処理浄化槽への変更も含め、社会的情勢や費用対効果を踏まえ、区域の見直し・施設の位置・スペックダウンなどあらゆる面から検討する。

問 汚泥肥料の利用促進に向けた取り組み

答 資源の有効活用や持続可能な発展に向けて、汚泥肥料の利用促進は、肥料の配合を変え改良を重ねながら検証を行っている。

今後も引き続き、沖永良部農業開発組合や知名町と協議を行いながら汚泥肥料の利用促進に向けて検討を進めている。

問 農産物の出荷支障に関する対策

答 台風や悪天候による出荷支障を受けた場合、貨物飛行機のチャーターを活用して農産物の輸送を行うことは可能か。また、その際の町としての準備や連携プランなどをどのように考えているのか。

答 現在、取引のある航空会社では、貨物機の機種が限られている状況に加え、沖永良部空港の滑走路では離発着が出来ないとのことで、チャーターの活用は難しい。しかしながら、今般の状況を踏まえると今後も同様のケースが想定されることから、他の航空会社へチャーターの可否について確認するとともに、関係団体と連携を図り、貨物飛行機での出荷体制の可能性について協議していく。

町者の送迎に使用するのが慣例となっていた。しかしながら、申請を行った職員の裁量に委ねられる部分が多く、運転資格を有している職員の業務増加も見受けられたことから、使用に関する公平性の確保・町民の利便性向上・職員負担軽減及び送迎中に事故が発生した場合における責任の所在を明確にするため、令和5年4月1日に和泊町マイクロバス使用規定を策定し運用している。そのようなことから町内での部活動合宿等に参 加する町内外の学校等に対してマイクロバスの使用をお断りしている。

問 本町の児童生徒が参加する部活動などの合同合宿等にマイクロバスを活用できないか。

答 公共性のあるイベント等において、職員が運転する」とことを条件に利用を認めおり、例年「おもてなし」ということで、関係者等が来

ことから、規定の見直しも含めて検討する。

沖永良部台風の教訓を忘れずに



かわいとこういち
川畑 宏一 議員

町民サービスの向上

問 民間活力の活用は。

答

民営化・PFI・指定管理者制度・民間委託の

4つの手法があり、現在7つ

の公的施設を指定管理者制度、SSTV業務を一部民間委託で運営。地域おこし企業人制度では民間企業の専門的な知識や経験を活かした事業推進が期待される。また、現在4名の地域おこし協力隊が

答

自助・共助・公助に基づく取り組みの現状と課題は。

災害時には名字自主防災組織を中心に避難所運営や避難誘導等を行い、区長が必要と判断した場合は避難所に役場職員を配置する。島外からの滞在者向けに宿泊施設へ防災マップを配付しているが、見知らぬ土地での避難は容易でないため、宿泊施設や自主防災組織と連携した避難体制の構築に取り組む。また、先進事例を学ぶ研修会や自主防災組織の設立・運営の支援も行う。

職員の資質向上策は。

み込み理解する力が強く求められる。

答 国・県への出向や人事交流・役職別研修等への参加。直近では、本町出身の前 健一氏（総務省／広島市副市長）よりG7広島サミットや平和記念都市について講話を頂いた。各課でも、専門的な知識・技術等を磨くために研修会や担当者会議等に職員を派遣している。近年は、Web会議システムの活用により自己研鑽の機会向上に繋がっている。

答 令和4年度の実績は052件。令和3年度比でそ

ふるさと納税実績、課題や取り組みは。

答

令和4年度の実績は1億985万円・35,052件。令和3年度比でそれぞれ約2,400万円・約18,000件の減少。（企業版ふるさと納税を併せると2億6,405万円で大幅な増加。）10月からルールがさらに厳格化されるため、返礼品事業者説明会にて協議を行い、返礼品価格は据え置き、寄付金額を上げることで総務省の基準を遵守していく。

答

令和4年度の実績は1億985万円・35,052件。令和3年度比でそれぞれ約2,400万円・約18,000件の減少。（企業版ふるさと納税を併せると2億6,405万円で大幅な増加。）10月からルールがさらに厳格化されるため、返礼品事業者説明会にて協議を行い、返礼品価格は据え置き、寄付金額を上げることで総務省の基準を遵守していく。

町民サービスの向上

問 民間活力の活用は。

答

民営化・PFI・指定

管理者制度・民間委託の

4つの手法があり、現在7つ

の公的施設を指定管理者制度、SSTV業務を一部民間委託で運営。地域おこし企業人制度では民間企業の専門的な知識や経験を活かした事業推進が期待される。また、現在4名の地域おこし協力隊が

災害時には名字自主防災組織を中心に避難所運営や避難誘導等を行い、区長が必要と判断した場合は避難所に役場職員を配置する。島外からの滞在者向けに宿泊施設へ防災マップを配付しているが、見知らぬ土地での避難は容易でないため、宿泊施設や自主防災組織と連携した避難体制の構築に取り組む。また、先進事例を学ぶ研修会や自主防災組織の設立・運営の支援も行う。

職員の資質向上策は。

み込み理解する力が強く求められる。

答 国・県への出向や人事交流・役職別研修等への参加。直近では、本町出身の前 健一氏（総務省／広島市副市長）よりG7広島サミットや平和記念都市について講話を頂いた。各課でも、専門的な知識・技術等を磨くために研修会や担当者会議等に職員を派遣している。近年は、Web会議システムの活用により自己研鑽の機会向上に繋がっている。

答 令和4年度の実績は052件。令和3年度比でそ

ふるさと納税実績、課題や取り組みは。

答

令和4年度の実績は1億985万円・35,052件。令和3年度比でそれぞれ約2,400万円・約18,000件の減少。（企業版ふるさと納税を併せると2億6,405万円で大幅な増加。）10月からルールがさらに厳格化されるため、返礼品事業者説明会にて協議を行い、返礼品価格は据え置き、寄付金額を上げることで総務省の基準を遵守していく。

答

令和4年度の実績は1億985万円・35,052件。令和3年度比でそれぞれ約2,400万円・約18,000件の減少。（企業版ふるさと納税を併せると2億6,405万円で大幅な増加。）10月からルールがさらに厳格化されるため、返礼品事業者説明会にて協議を行い、返礼品価格は据え置き、寄付金額を上げることで総務省の基準を遵守していく。

町民サービスの向上

問 民間活力の活用は。

答

民営化・PFI・指定

管理者制度・民間委託の

4つの手法があり、現在7つ

の公的施設を指定管理者制度、SSTV業務を一部民間委託で運営。地域おこし企業人制度では民間企業の専門的な知識や経験を活かした事業推進が期待される。また、現在4名の地域おこし協力隊が

災害時には名字自主防災組織を中心に避難所運営や避難誘導等を行い、区長が必要と判断した場合は避難所に役場職員を配置する。島外からの滞在者向けに宿泊施設へ防災マップを配付しているが、見知らぬ土地での避難は容易でないため、宿泊施設や自主防災組織と連携した避難体制の構築に取り組む。また、先進事例を学ぶ研修会や自主防災組織の設立・運営の支援も行う。

職員の資質向上策は。

み込み理解する力が強く求められる。

答 国・県への出向や人事交流・役職別研修等への参加。直近では、本町出身の前 健一氏（総務省／広島市副市長）よりG7広島サミットや平和記念都市について講話を頂いた。各課でも、専門的な知識・技術等を磨くために研修会や担当者会議等に職員を派遣している。近年は、Web会議システムの活用により自己研鑽の機会向上に繋がっている。

答 令和4年度の実績は052件。令和3年度比でそ

ふるさと納税実績、課題や取り組みは。

答

令和4年度の実績は1億985万円・35,052件。令和3年度比でそれぞれ約2,400万円・約18,000件の減少。（企業版ふるさと納税を併せると2億6,405万円で大幅な増加。）10月からルールがさらに厳格化されるため、返礼品事業者説明会にて協議を行い、返礼品価格は据え置き、寄付金額を上げることで総務省の基準を遵守していく。

答

令和4年度の実績は1億985万円・35,052件。令和3年度比でそれぞれ約2,400万円・約18,000件の減少。（企業版ふるさと納税を併せると2億6,405万円で大幅な増加。）10月からルールがさらに厳格化されるため、返礼品事業者説明会にて協議を行い、返礼品価格は据え置き、寄付金額を上げることで総務省の基準を遵守していく。

花き生産増量と輸送対策は？

こだま さねたか
児玉 実隆 議員

る。業要件に沿つて事業の活用可否が判断されるものと考える。

答

産地生産基盤パワーアップ事業の活用
花き選別機の新規導入及びリース事業の計画は。

産地生産基盤パワーアップ事業を含め各事業

では、申請段階において事業要件が様々ある中、一概に事業の導入についての可否を判断することは難しい。したがって、個別の相談は隨時経済課で行つており、窓口や電話等で相談していただき、事業要件に沿つて事業の活用可否が判断されるものと考える。

答

冷蔵コンテナの導入の計画はないか。

マンゴーについて、台風など災害時においては

冷蔵コンテナ等が必要になる事もある。今回の台風においては、農協の冷蔵庫を借りて対応した。今後も、使用時間が限られることや維持費などが高い為、費用対効果を考慮する必要がある。

また、花き用の冷蔵コンテナの導入については、事業要件に合致する内容であるか否かの判断は、産地生産基盤パワーアップ事業以外の事業活用も考えられるので、まずは経済課へ相談いただきたい。

問 やすらぎ館・えらぶ長浜館に雨戸等の設置はできないか。

答

2つの施設については

雨戸の設置はなく、強化ガラスで対応している。建設から、えらぶ長浜館は17年、やすらぎ館は9年経過しておりますが、雨戸がないことに

ないほどの災害が発生している。本町においても本年6月に発生した線状降水帯による大雨は、観測史上最大雨量を記録した。今後も、大規模な災害が発生することも想定される。



▲花き用冷蔵コンテナ

ただ、昨今の災害を見ると全国各地でこれまでに類を見



▲えらぶ長浜館

スマート農業の推進



きい かずお
喜井 和夫 議員

農業振興

問 生産性の向上を図るために、農業用ドローンを活用した防除作業の委託に対し、補助金の創設は。

答 野菜については業者や鹿児島県経済連などが作業委託を行っている。ド

ローンは強風時散布できない事があり、農家が散布してほしい時期を逃す事も考えられる。農家の皆様においては、作業委託と自分での両立を推進して頂きたいと思つ。

問 今年度より新規で「えらぶゆりりバイバル事業」が行われているが、来年度のが計画は。

答 来年度のえらぶゆりりバイバル事業について

は、本年の省力化に向けた実証を基に機械の改良を行い、

来年度に再度実証する予定と

おり、全ての生産者がドローンを活用することは難しい。現段階での補助金の創設は検討している。生産性向上を図るために、全生産者を対象に、農薬の助成を行い取り組んでいるので、生産者の皆様においては、作業委託と自分での散布作業の両立を推進して頂きたい。

答 エアコン設置の件については、放課後児童健全育成事業者及び保護者からの要望書を受け、その対応について調整している状況。

その対応方針について、教育施設を管理する教育委員会事務局と協議を行った結果、特別教室へのエアコン設置については、授業における利用状況や他の特別教室の整備状況等の面から、現在のところ早急な設置は、厳しい状況であるとの回答であった。

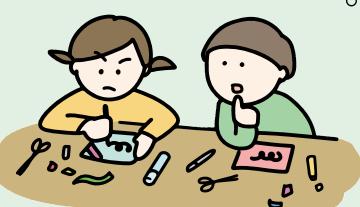
問 放課後児童クラブが行われる現状であるが、エアコンの設置は。

しかし町としては、今後も放課後の子どもたちが安全で健全に過ごせる環境整備を進めるために、児童の暑さ対策を最優先に考慮したうえで、

している。また、本年も実施したりん片の作付面積に対する補助金の交付及び球根更新に対する球根助成は、引き続き実施する。

そのような状況から、子どもの暑さ対策を最優先に考え、迅速かつ効率的に暑さに対する球根助成は、引き続き実施する。

対策が実行できる対応策として、既にエアコンが設置されている施設の利用について代替案を提案したが、活動の現場から、児童や備品の移動に伴う懸念事項等から代替案での実施は厳しい状況であるとの回答をいただいている。



高齢者にやさしいまちづくり



ひがし ひろあき
東 弘明 議員

農業対策

問 台風の影響により船便の欠航が長期に渡り、マンゴーや花等が出荷できなかつたが、今後の対策は。

答 マンゴーは出荷できな

い間、農家個々の冷蔵庫や農協の冷蔵庫を借りながら

品質保持に努めている。商品出荷が厳しいB品マンゴーは各農家に連絡を行い役場及び県沖永良部事務所にて販売を行った。

花きは、出荷団体や個人の冷蔵庫に加え、鮮度保持シートや真空冷却装置を活用し、出荷までの期間の品質保持に

努めているが、船便の欠航が長期化する場合は、輸送体系の構築に向け関係機関と連携を図りたい。

軽減税率の導入

問 畦島における物価高騰に係る消費税の軽減について。

答 本町では物価高騰支援

として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として、これまでに町内登録店舗で商品券として利用できるプレミアム商品

券事業や農林漁業者等を対象とした飼料や肥料、燃料に対する価格高騰対策事業、子育て世帯に対する支援として学校給食免除措置事業、字に対

する支援として集落活動支援事業を実施した。

とした住民税非課税世帯等給付金やプレミアム商品券事業及び、学校給食費免除措置事業等の実施を計画している。

問 物価高騰に伴う消費税の軽減対策（軽減税率）については、消費税自体が国税であるため、市町村での軽減などの裁量がない。

答 高齢化に伴う運転免許証の自主返納後の移動手段確保のため、シニアカーの購入助成は。

答 現在の移動支援措置と定している。

答 しては、運転免許証自主返納者に限らず満70歳以上の方のバス乗車運賃を、1回の乗車につき上限160円と設定している。

ない。高齢者の交通移動手段の確保を含めた支援策が必要と考えられるので、総合的に検討をしていく。

移動スーパーを運営するための助成はできないか。

答 移動スーパーを運営するための助成は、既に民間事業者が移動販売や宅配サービスを実施していること

から、町からの助成は検討していないが、町としては、高齢者も含めた買い物弱者や移動弱者の方々に対する支援について、公共交通の利便性増進など様々な角度から検討していく。



「令和4年度各会計の決算額と採決の結果」

区分	歳入決算	歳出決算	差引	採決結果
一般会計	71億7905万円	70億4052万円	1億3853万円	全会一致で認定
特別会計	国民健康保険	11億6879万円	11億2010万円	4869万円 全会一致で認定
	奨学資金	1173万円	649万円	524万円 全会一致で認定
	下水道事業	3億1469万円	2億9080万円	2389万円 全会一致で認定
	農業集落排水事業	2億7257万円	2億4744万円	2513万円 全会一致で認定
	介護保険	10億0052万円	8億9735万円	1億0317万円 全会一致で認定
	後期高齢者医療	1億0411万円	9764万円	647万円 全会一致で認定
水道事業（収益的部分）		1億7050万円	1億7048万円	2万円 全会一致で認定
合計	102億2196万円	98億7082万円	3億5114万円	すべて認定

認定

※決算額は、1万未満を四捨五入で掲載しているため、差引・合計額等が一致しない場合があります。

【付帯意見】

様々な事業が計画される中で、必要な予算が議決された事業においては、確実に執行がなされること。また、和泊町総合交流施設建設に向けて、早期着工を強く求める。

美野識見監査委員より（一般・特別会計について）

令和4年度は、前年度に引き続き国際情勢の変化による物価高騰や新型コロナウイルス感染症の収束がみられない中での不安定な行政財政運営がありました。

このような中、本町の財政面での課題である財政指標の改善のため第2期財政健全化対策を集中的に取り組んだ結果、将来負担比率は昨年度に引き続き大幅に改善されております。

このことは財政担当を中心とした全庁的連携による取り組みの成果であります。また、多くの基金を積み立てられたことも評価できます。

時代に即したニーズを的確に捉えた施策を積極的に展開しながらも、町の行財政改革を確実に実行し、初期の目的を達成した事業やニーズに則さない施策や施設の改廃を行うスクラップ＆ビルトの手法を用いることで財政の安定を図り、本町が目指す「人と未来を笑顔でつなぐ、心豊かな和の町、和泊町」の実現に向けて前進することを願います。





事業経過を しっかりチェック!

9月15日、決算審査特別委員会の
現地調査にて、各委員会が選定した
事業箇所の現状確認をおこなった。



産地パワーアップ事業
(集出荷場施設・選果機)

実施内容: 中心となる経営体がばれいしょの集出荷施設を新たに導入し、品質向上や定時・定量の出荷体制の確立を行い産地全体の収益向上を図る。



公共下水道中部汚水中継ポンプ場

実施内容: 中部浄化センターから用途を変更し中部汚水中継ポンプ場として和泊浄化センターへ圧送。
(中継ポンプ・発電機更新)



世之主の城跡階段設置・遊歩道整備事業

実施内容: 昇降階段・南側遊歩道・北側駐車場整備。古里の見張り台(通路・見張り台頂上整備)案内板・解説板を設置。世之主ロードパンフレット新規発行。

◎その他「和泊町総合交流施設建設候補地」城ヶ丘中学校(教員住宅・移住定住住宅・町営住宅)東側の現地視察を行った。



脱炭素先行地域事業調査特別委員会活動報告

意見書を提出しました

脱炭素先行地域事業調査特別委員会において、自然エネルギーを活用した自治体の取り組みの現状と課題を視察調査した結果を元に、9月28日前町長へ意見書を提出しました。



〈お詫びと訂正〉

前号第160号の6ページ、東議員の一般質問で3段目「飼料価格高騰対策事業(イラストあり)」の数字に誤りがありました。
正しくは977万円となります。お詫びして訂正いたします。

中学生の視点から町政を問う

令和5年度子ども議会が7月31日に開催され、瀬島議長の進行で、9名の中学生議員から質問・意見・要望等が出され、活発な議会となりました。

リサイクル工場の建設について

和泊中学校3年

弘野 莉都 議員

Q. リサイクル工場の建設。

A. 全集落に必要かの検証や予算を伴うためすぐに建設は厳しいが、現在定期的にフリーマーケットを開催している団体もあるので活用してみてはどうか。また町主催の各種イベントと併せて、不用品の譲渡会等の実施を検討したい。

Q. ゴミの量の報告。

A. 地域住民の方々と協力しゴミ拾いを行い、比較・グラフ化した上で広報することは、地域のゴミに対する課題を明確化でき、問題を再認識していただける有効な手段であると考える。学校やクラス単位での試験的な取り組みにも期待したい。

海洋ゴミを減らして有効活用するには

城ヶ丘中学校2年

宜喜 葵 議員

Q. ごみアート体験や作品展示で活用できないか。

A. 海洋ゴミを減らすためにゴミアート体験やコンテストを実施することができるよう、まずは小学生に漂着ゴミを使ったゴミアート作品づくりを提案したり、ゴミを使った作品を文化と福祉の作品展に展示したりできるよう啓発していきたい。多くの方に環境や海洋ゴミについて興味をもっていただけるよう、和泊町としても取り組んでいきたい。

スポーツ会場の設置

和泊中学校3年

川添 瑠偉 議員

Q. 和泊町に大規模なスポーツ施設を設置。

A. 総合交流施設のような大きな施設を建設するとなると、多額の建設費用がかかる。その上で、サッカー場や陸上競技場・その他の施設を一度に建設するのは困難であるため、一つひとつ建設できるように計画していきたい。

Q. スポーツ施設に付随する施設の設置。

A. 町民アンケートでも、小さな子どもが走り回って遊べるような施設の要望が多かったため、子育て支援スペースは組み入れたいと思っている。体育館として使用しない方々も気軽に立ち寄れるようなエリア作りを目指す。

和泊町主催の食の祭典を開催してはどうか

城ヶ丘中学校2年

萩原 優空 議員

Q. 島の魅力を発信できる食のイベントを開催できないか。

A. 本町は島でとれた野菜や果物・加工品等の特産品をPRするイベントを実施し、多くの方に参加いただいている。今後も皆さんの斬新なアイデアを提供していただきながら、島内外に島の農林水産物の魅力を発信していきたいと考える。また、見た目等の問題で売り物にできない未利用資源を活用した加工品の開発に取り組んでいる事業者もいるので、商品PRの際に発信していく。

学生応援プロジェクト

和泊中学校3年

今井 韶 議員

Q. 学生割引制度の推進。

A. 令和5年度から補助基準の枠を広げ、島外派遣旅費に係る予算も大幅に増額した。部活動以外にも島外における強化練習等に参加する場合に旅費の一部を助成する「子ども夢応援プロジェクト」も有効活用していただきながら、学生割引制度の推進も協議していきたい。

Q. 検定試験の助成制度の新設。

A. 漢字や数学検定についても学校の先生方の意見も参考にし、全ての検定に1人それぞれ1回ずつ3,000円の助成ができるよう環境を整えていきたいと考えている。

子どもからお年寄りまで、安全に使うことのできる町道へ少しづつ変更できないか**Q. 歩道空間の改善**

城ヶ丘中学校3年

みなむら ゆい 議員

A. 令和5年度より道路歩行空間のカラー舗装化を実施する。本年度は和泊中学校区、来年度以降は城ヶ丘中学校区も予定しており、今年度から集中的に実施していく。**Q. バリアフリーに特化した道路****A.** 現状の歩道乗り入れ部は、わずかな段差があり不快な箇所もあると考える。最近は段差を解消する製品も設計時に採用できる。新規整備では積極的に使用し、整備済みの箇所は事業や予算の検討を行いたい。**波力発電プロジェクト****Q. 再エネとして波力発電を和泊町に導入できないか。**

和泊中学校3年

こが ひとし 議員

A. 太陽光発電コストは1kwhあたり約12円。一方で波力発電コストは1kwhあたり約52円であり、太陽光や風力などの再生可能エネルギーと比較するとまだ商業化が進んでいない分野のため一般的には高コストな取り組みと言える。今後更に研究や開発が進めば効率的・経済的になる可能性があり、国の補助金の活用なども含め、事業として採算が見込めれば、将来的に波力発電の導入も視野に入れることができると考えられる。**町民グラウンド管理****Q. 芝の管理を継続的にできないか。**

城ヶ丘中学校2年

てらはら しゅんま 寺原 舜真 議員

A. 芝の管理は、年間5回ほど業者に委託しているが、多くの方々が使用しているため、芝がなかなか育成されない現状にある。根付かせるためには半年程使用できない時期が必要となってくる。

そうしてしまうと多くの使用者が不便になるので、使用者の方には使用後に砂を撒き、トンボ等で整備をお願いしている。今後も状況が良くならない場合は使用を制限したりし、使用して気持ち良いグラウンド整備に努めたい。

観光アプリでストレスフリーに**Q. お店や観光スポットの最新情報の提供。**

和泊中学校3年

おおえ みあん 大栄 風翠 議員

A. おきのえらぶ観光協会のホームページが今年6月に「おきのえらぶ島の旅」としてリニューアルされ、国内外に情報発信している。グルメ特集や隠れたスポットも紹介され、カテゴリー別に検索できる機能やモデルコースの紹介もされている。**Q. 予約システムや割引クーポンの発行。****A.** 情報を発信する手段としては、観光協会のホームページやグルメアプリ、独自のSNS等既存のものを活用し、観光客や島民などに必要な情報が届けられるようにすることで充分に宣伝効果が得られるのではと考える。**子ども議会を通して**城ヶ丘中学校2年 **瀬島 奈美恵** 議長

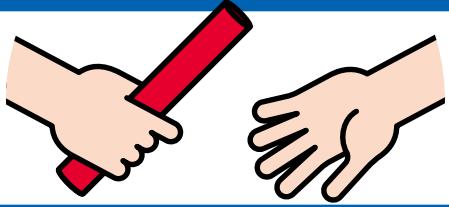
私は今回子ども議会の議長に挑戦しようと決めた時、不安でいっぱいでした。また、直前まで体調を崩してしまい、リハーサルに参加できなくて不安な気持ちが重なりましたが、関係者の皆様のサポートでやり切ることができました。

今回、子ども議会で和泊町や沖永良部をより良くすると発表した子ども議員の皆さん、本当に疲れ様でした。今回の経験を基に、沖永良部について今後もしっかり考えていくましょう。また、役場職員の皆様には、私たちの質問や意見に分かりやすく、丁寧に答えていただき、本当にうれしかったです。また、今回の子ども議会では普段見ることのできない町議会運営の仕方や中身を詳しく知ることができ、とても勉強になりました。今回の子ども議会で学んだことや考えたことを今後の学校生活や地域の活動に活かしていきたいです。

最後に、このような貴重な経験の場を設けてくださった関係者の皆様、本当にありがとうございました。



町民エッセーリレー 絆のバトン



私がこの島に移住したきっかけは、南の島への憧れでした。東京で生まれ育ち、父が北海道の出身だったこともあり、物心がついた頃から、暖かく自然が豊かなところに住んでみたいと思っていました。高校卒業後は働きながら、アジア諸国やオーストラリアをあてもなく旅してきました。今思えば、幼少期からの望みを叶えようとしていたのかもしれません。そんなとき、何気なく見ていた求人サイトで沖永良部島が目に止まり、直感で履歴書を送りましたが、当時は沖縄の離島なのだと勘違いをしていました。

半年間の短期滞在のつもりが、結婚をして予育てをしているうちに、あっという間に10年近い年月が経ちました。どんなに長く住んでも、色とりどりの自然に飽きることはありません。エラブブルーと呼ばれる海の青も、亜熱帯植物の緑も、ハイビスカスの赤も、全てが愛しいです。岬から眺めるダイナミックな景色は、何度見ても心が震えます。今では飲食店や美容室なども増え、都会と比

べて物足りなさを感じることもありません。そして何より、優しい島の人々に囲まれて子育てができるることは、本当に恵まれてると思います。

現地で学んだタイ古式マッサージを仕事にしたいと思い、6年前に思い切って開業をしました。性別も年齢も関係なく、島外からの観光客も含めて、必要な人に来てもらえるようなお店作りをしてきました。現在は、ベビーマッサージや産前産後のケアを取り入れた幅広い活動をしながら、保育士資格が取得できる通信制の短大に通っています。この島での出産、育児への悩みを見聞きする度に、こんなに素晴らしい環境があるのに勿体無いと感じたからです。子育て家庭に寄り添う存在になることが、今の私にできることだと思っています。専門的な知識と技術を惜しみなく活かして、これからもこの島に貢献していきたいです。



プロフィール

宗岡 世奈 せな ひろさん(33歳)

宗岡 裕 ゆくん (5歳)

2017年タイ古式マッサージ店「Tawan」を設立
ホテルへの出張マッサージやベビーマッサージ教室も行う。
「Tawan」はタイ語で太陽の意味。

朝日からエネルギーを受け、夕日に浄化されるようなマッサージをしたいという思いを込めている。

編集後記

議会報編集委員会では、年間4回の議会だよりを発行しています。

議会広報の役割は、町民の皆様・子どもたちに分かりやすく町政・議会活動を知りたいいただくことです。

今後も、見やすい分かりやすい紙面を心がけ、議会広報を通じ町民と議会のさらなる関係構築ができるように努めてまいります。

文責 島田 浩樹

委員長	副委員長	委員	議會議長	編集責任者	発行責任者
山森 児島	永			口 玉田	野
明 富 実浩		利			
日 香 隆樹		則			

今号の表紙



子ども議会の議員の皆さんです。
夏休み期間にリハーサル・本番と大変だったかと思いま

いします。
当日はサンサン
テレビの撮影が入
り、緊張もされて
いましたが良い経
験になつたので
はないでしょうか。